

陸別町
ふるさと劇場
第107回公演

札幌交響楽団 陸別公演

2024 陸別町タウンホール
陸別町陸別東1条3丁目1 TEL0156-27-2123
2/17 [土] 開演 15:00 開場 14:30

指揮
松本 宗利音

管弦楽
札幌交響楽団



ヘンデル
組曲「王宮の花火の音楽」序曲

モーツァルト
アイネ・クライネ・ナハトムジーク

シューベルト
交響曲第4番「悲劇的」



©Yasuo Fujii

チケット (全席自由・各税込)

一般販売 2024年1月18日(月)10:00~

一般 2,000円(当日2,500円) 高校生以下 1,000円(当日1,500円)

陸別町民特別価格 2023年12月18日(月)10:00~

一般・高校生以下ともに 500円(当日1,000円) ※町内の販売場所でお求めください

※未就学児の入場はご遠慮ください。※車椅子でのご来場は陸別町教育委員会にお問い合わせください。

お問い合わせ

- 陸別町教育委員会 TEL0156-27-2123
- 札幌交響楽団 TEL011-520-1771 (平日9:30~18:00、月不定休)

チケット販売場所

陸別町内

- アートサロン ガンビー
- 陸別町商工会
- 高荻寝装
- 陸別町教育委員会

北海道内(一般販売のみ)

- 道新プレイガイド doshin-playguide.jp
- セイコーマート(店内マルチコピー機 セコマコード: D24021702)

※ご購入方法によっては手数料等が加算されます。
※やむを得ない事情により公演内容の一部が変更となる場合がございます。
※主催者による公演中止の場合を除き、お求めのチケットの払い戻しはいたしかねます。

主催: 陸別町ふるさと劇場、北海道新聞社、札幌交響楽団
後援: 陸別町、陸別町教育委員会



陸別町ふるさと劇場 第107回公演 札幌交響楽団 陸別公演

陸別町タウンホール

2024年2月17日(土) 開演/15:00 開場/14:30

指揮／松本宗利音

Shurihito Matsumoto, conductor

1993年11月22日大阪府豊中市出身。相愛音楽教室、センチュリー・ユースオーケストラに所属し、音楽、特にヴァイオリンに親しみながら幼少期を過ごした松本宗利音は、京都堀川音楽高校を経て東京藝術大学音楽学部指揮科卒業時に最優秀賞であるアカンサス賞を受賞。指揮を尾高忠明、藏野雅彦、高関健、田中良和、ヴァイオリンを澤和樹、曾我部千恵子の各氏に師事し、藝大在学中にはダグラス・ボストック、パーヴォ・ヤルヴィ両氏のマスタークラスを受講。2019年4月から2022年3月まで札幌交響楽団指揮者として道内はもちろん各地で共演を重ね、2020年10月には指揮研究員を務めて指揮者としての才能を開花させる礎となった東京シティ・フィルの定期演奏会に、2021年2月には読売日本交響楽団に、9月には大阪フィル定期演奏会にもデビューし堂々たる演奏を披露。これまでに山形交響楽団、仙台フィル、群馬交響楽団、東京交響楽団、新日本フィル、名古屋フィル、京都市交響楽団、関西フィル、大阪交響楽団、日本センチュリー交響楽団などに客演、活躍の場を大きく広げている。これからの音楽界を担う期待の若手指揮者の一人であり、その瑞々しい感性から引き出される音楽から目と耳が離せない注目の存在である。



管弦楽／札幌交響楽団

Sapporo Symphony Orchestra

1961年発足。優れた音響で世界に名高い札幌コンサートホール Kitaraを主な演奏会場とし、北海道・札幌を拠点に北海道内外で活動を展開するオーケストラ。北の大地と冷涼な気候の中で育まれた透明感のあるサウンドは、作曲家の武満徹が愛したことでも知られ、「札幌」の愛称で親しまれている。

現在、首席指揮者のマティアス・バーメルト、名誉音楽監督の尾高忠明、友情指揮者の広上淳一、正指揮者の川瀬賢太郎を擁し、コンサートマスターの田島高宏、会田莉凡を含む75名の楽団員が在籍。Kitaraと札幌文化芸術劇場hitaruで開催する定期演奏会、道内各市町での公演、東京定期公演など年間の公演回数は約120回。あわせて楽団員による教育・福祉分野での活動を北海道全域で実施する。近年はインターネットも積極的に活用して、広く音楽文化の振興と教育に取り組んでいる。

コロナ禍で迎えた60周年を越えて、地域に支えられ地域とともにあるオーケストラとしてますますの充実を目指している。



©Yasuo Fujii

お問い合わせ

陸別町教育委員会／tel.0156-27-2123

札幌交響楽団／tel.011-520-1771(平日9:30～18:00、月不定休)

